

# 笠置町

Kasagi Town

## 笠置の史跡に心をまかせて

### 天照御門神社

天照御門神社は四社からの総称 春日神社・天照御門神社・八王子神社・九頭龍神社

天照御門神社は天照という太陽信仰と御門という御門神信仰の習合したものである。

(習合→それぞれ異なった教義・主義などを総合調和すること)

春日神社・八王子神社・九頭龍神社は龍神神仰である。龍神神仰は雨・水の神である「日本三代実録」によると貞観元年(859)に従五位下の位を賜っている。

天照御門神社は享保9年(1724)頃から「天満大自在天神」と呼ばれ俗に天神社と称されていた。

天照御門神社と正式名称として呼ばれるようになったのは明治36年(1903)頃と思われる。



天照御門神社

### 東の坊 銅造聖観音座像

この仏像は右手は膝に伏し左手は蓮華をとる形の銅造りで像高は18cmの聖観音座像である。

火災にあい、長く土中に埋もれていたため、その当時の尊容は著しく損なっている。

この像は三方に花形の宝形をつけ、中央に化仏を配している。張りのある肉付きのよい面顔・体軀や膝がまえて太造りで古様さを表している。

宝冠や胸飾り衣丈の刻みなどその尊容から中国の宋(南宋)の時代の作とも思われ、背面の形からみると高麗時代の作とも考えられる。

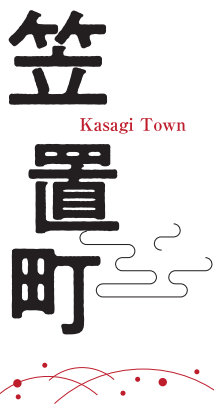
製作は恐らく中国で宋の時代と考えられ12~13世紀頃であると思われる。

この時代の作は我が国に招来されているものが少なく珍しい逸品である。



(火災、像の製作された時代は不明)





## 笠置の史跡に心をまかせて

### 東光山 東明寺

天照御門神社の北隣に位置しており、古くは奈良時代から室町時代までの写経の記録がある東明寺は、天照御門神社の神宮寺として建立される大覚寺派のお寺である。周辺には大覚寺派の寺院がなく、特異な存在である。

東明寺の開創は不詳であるが、1549年には存在したことは史料から判明している。

このお寺を知らしめているのは、京都府文化財に指定されている〈大般若経〉であり、東明寺には、588帖が伝存しており、大正12年に内38帖が奈良国立博物館に、残りの550帖は飛鳥路の人々に守られ東明寺で保存されていたが、のちに京都府立山城郷土資料館へ寄託された。



現建物は平成22年8月26日上棟 平成23年1月2日落慶法要



東明寺 石造物全景



阿弥陀如来立像



薬師如来座像



十一面観音立像



弘法大師像